

詳細 4 :

ユーザーニーズを徹底追求したインフォテインメント

新型 Audi Q9 のインフォテインメントは、かつてないほど明快でユーザー中心に設計されています。曲面デザインと OLED 技術を採用した MMI パノラマディスプレイは、12.3 インチのオーディオバーチャルコックピットと 14.5 インチの MMI タッチディスプレイで構成されています。ドライバーの注意散漫を防ぐダイナミックプライバシーモードを備えた 12.3 インチのパッセンジャーディスプレイが標準装備されており、運転の妨げとなる映像などのコンテンツは、走行中の運転席から視認することはできません。パッセンジャーディスプレイが使用されていなかったり、助手席に乗員が検知されない場合、背景画像を表示することができます。インフォテインメントシステムのオペレーティングシステムには、Android Automotive OS を採用しています。サードパーティ製アプリは、Audi Application Store を介して利用可能で、ストアは MMI に直接統合されておりスマートフォンを必要としません。Audi Q9 の市場導入時には、音楽、動画、ゲーム、ナビゲーション、パーキング&充電、仕事効率化、天気、ニュースなどのカテゴリーのアプリが利用可能です。ストアは常に拡充されており、アプリのラインナップは各市場に合わせて最適化されています。直感的で使いやすくなったタッチコントロールに加え、ディスプレイの操作コンセプトもユーザーインタラクションにおける世界的なトレンドを反映しています。オーディオの自己学習型音声アシスタントであるオーディオアシスタントのボイスコントロールは大幅に強化され、自然言語を介して多数の車両機能を操作することができます。

ChatGPT を統合したことで、走行中に情報を検索したり、車両と対話することが可能となりました。例えば、オーディオアシスタントは、車両機能の実行か、目的地の検索か、あるいは天気予報なのかを自動的に判別します。オーディオのシステムが一般的な質問に回答できない場合にのみ、その質問は ChatGPT に転送されます。すべての機能がオーディオアシスタントに統合されているため、ドライバーにとってはこのプロセスがシームレスに感じられます。オプションの工場出荷時装着のドライブレコーダシステムは動画を記録し、万一の事態の記録を提供します。

バランスの取れたパワフルなエンジン

ドイツ市場導入時には、220 kW の V6 ディーゼルエンジンが導入されます。一部の欧州市場では、180 kW 仕様も設定されます。220 kW 仕様は 630 Nm のトルクを発揮し、180 kW ディーゼルエンジンは 500 Nm を発揮します。効率性と加速性能を向上させるため、両方の出力レベルで MHEV plus システムを搭載します。MHEV plus システムは、Audi Q9 向けに最適化されたパワートレインジェネレーター (PTG)、ベルト駆動式オルタネータースターター、およびリン酸鉄リチウム電池で構成されます。PTG は、発進および追い越し時に最大 18 kW (24 PS) の出力を発揮し、電動走行を可能にし、内燃エンジンをアシストすることで、CO₂ 排出量と燃料消費量を削減します。8 速ティプトロニックとフルタイム四輪駆動の quattro が標準搭載されます。

V6 TDI はまた、MHEV plus システムを補完する電動コンプレッサー (EPC - 最高出力 7.5 kW、連続出力 3.5 kW) と、2 段階ターボチャージャーを特徴としています。電動コンプレッサーは、必要に応じてわずか 1.2 秒で最大 3.6 bar の絶対過給圧を立ち上げ、ダイナミックなレスポンスを実現します。エンジンの低回転域からより多くのトルクを提供することで、電動コンプレッサーは燃料消費量も削減できます。V6 ディーゼルエンジン、PTG、および電動コンプレッサーの組み合わせにより、特に発進時に際立つ力強い推進力を発揮します。

快適性と多用途性を両立するサスペンションとブレーキ

Audi Q9 は、アダプティブエアサスペンションを標準装備しています。連続可変ダンピング機能と車高調整機能を組み合わせることで、日常の走行シーンからさまざまな路面環境まで、優れた走行性能を発揮します。このアダプティブシステムは速度、荷重、および走行状況に応じて自動的に調整されます。ドライバーは必要に応じて、オーディオ ドライブセレクトを介して手動で車高を調整することも可能です。最低車高モードと最高車高モードの間の調整幅は 90mm です。バランスモードからは車高を 62mm 下げることができ、乗降しやすい高さまで調整することが可能です。

アダプティブエアサスペンションは快適性を確保するだけでなく、プログレッシブステアリングおよびオールホイールステアリングとの組み合わせにより、落ち着きと自信に満ちたドライビングエクスペリエンスを実現します。さらに、電子制御ダンピングを備えたアダプティブエアサスペンション スポーツ

をオプションで装備することで、Audi Q9 をさらに俊敏で汎用性の高い存在にします。オールホイールステアリングは低速域における車両の操縦性を向上させ、高速域ではステアリング精度と安定性を高めます。このシステムはリヤホイールを最大 5 度操舵することができます。オールホイールステアリングは完全自動で作動し、駐車場や狭い市街地の道路などの低速域では、リヤホイールがフロントホイールと逆方向に操舵し、最小回転半径を縮小します。高速道路走行時には、リヤホイールがフロントホイールと同方向に操舵し、車線変更時の安定性を向上させます。また、このシステムにより、緩やかなカーブでは車両がよりスムーズに走行でき、タイトなコーナーではよりダイナミックな反応が可能になります。

Audi Q9 は、統合ブレーキ制御システムとベンチレーテッドブレーキディスクを使用して減速します。フロントには、直径 400mm の軽量コンポジットブレーキディスク、リヤには直径 350mm のブレーキディスクが装備されています。6 ピストン固定型キャリパーの標準色はグレーで、レッドはオプションで選択可能です。また、ブレーキペダル、アクセルペダル、フットレストには、オプションでステンレス製ペダルキャップを装着することができます。

長距離走行での快適性からよりスポーティなドライビングスタイルまで、ドライブセレクトダイナミックハンドリングシステムには、幅広い走行特性を実現する 7 つのモードを用意しています。ドライブセレクト アシスタントは、道路状況やドライビングスタイルに応じた適切なモードを、走行中に自動的に選択します。

Audi Q9 の導入時期

Audi Q9 はプラチスラバで生産されます。この SUV は 2026 年 7 月からオーダー可能となり、納車は 11 月に開始される予定です。